

受付番号

1

許可番号

大歯医倫 第 111035 号

研究課題名

アルロース含有シロップとプラーク形成に関する基礎的研究

研究責任者

池田 千浦子

申請者

池田 千浦子

研究終了日

2024 年 3 月 31 日

所属

口腔病理学講座

所属

口腔病理学講座

職名

助教

職名

助教

申請の概要

希少糖とは自然界での存在量が少ない単糖および糖アルコールのことを指し、さまざまな生理機能を持つとされている。我が国では、キシリトールやエリスリトールといった希少糖が普及しており、キシリトールはう蝕の発生や進行を防ぐ効果があり、エリスリトールは低カロリーの甘味料として認知されている。近年、希少糖のひとつであるアルロースの量産化が進み、医療・健康分野における応用について研究が始まっているが、アルロースが口腔内の健康に及ぼす影響については報告が少ない。本研究は成人 3 名（男女は問わない）を対象として、アルロースのう蝕予防効果について検討する。本研究によってアルロースのう蝕予防効果が明らかになれば、既に報告されているアルロースによる血糖値上昇抑制などの効果と相まって次世代の甘味料として普及することが期待される。アルロースを利用した食品の普及によって複数の生活習慣病の予防が可能となり、健康寿命の延伸や社会保障費の削減に繋がるものと期待される。